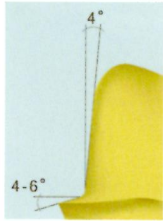


ゼノ[®]テックシステム プレパレーションガイド

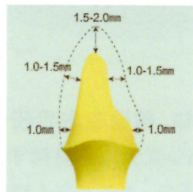
ゼノ[®]テックシステムをご利用になる際は、下記のガイドラインに従い準備を行ってください。

■ 支台歯形成

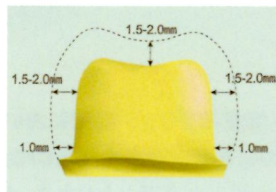


- マージン部が水平に対して4度から6度のスロープ角をもつシャンファアもしくはラウンデッドショルダーを形成します。
- 軸側壁のテーパは歯軸に対して4度以上に形成します。
- 支台歯は丸みを帯びた形態にしてください。
- 鋭角なエッジのある形態は避けてください。
- マージンラインは、がたつきのないよう明確に形成してください。

[歯質削除量]



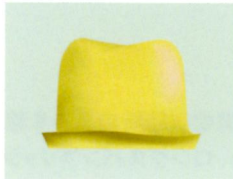
● 前歯



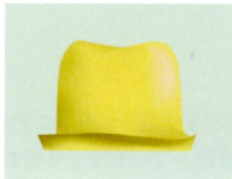
● 臼歯

- スペースを左図のように確保してください。
- 特に前歯部は、鋭角なエッジのないよう形成してください。
- ゼノ[®]フレームの厚み
前歯部単冠: 0.4mm以上
その他の部位単冠、ブリッジ(全ての部位): 0.6mm以上

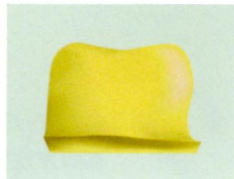
禁忌



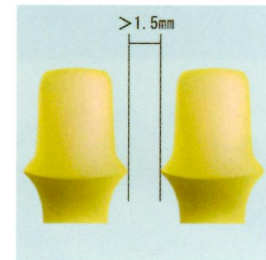
- 90度のショルダー(左)
- ヘビィシャンファア(右)



- ショルダーの長いもの(左)
- ジャンピングショルダー(右)



- フェザーエッジ(左)
- アンダーカット(右)



- 隣在歯とのマージン間は1.5mm以上の間隔が必要です。

■ 印象採得 ゼノ[®]テックシステムは適合精度が良いため、口腔内での印象採得が非常に重要となります。

■ 模型作製

[石膏模型]

淡色の超硬石膏でレジンが配合されていないものをご使用ください。
表面に光の反射がおこるような処理を行わないでください。
スキャン時の模型の高径をワックスアップ部分を含め45mm以内
にしてください。

分割模型が必要です。

支台歯は模型から個別に取り外すことができるように作製してください。
支台歯の回転や動揺がないようにしてください。
支台歯のトリミングは、マージンを鋭角にしすぎないようにご注意ください。
石膏の突起などは削り落としてください。

ワックスアップがあると便利です。

写真のように、フレームの最終形態をワックスアップしたものをご用意
いただくと、ほぼ同じ形態のゼノ[®]フレームを作製することが可能です。



45mm以内